

ロンドン、2018年6月19日

中国の唐山鋼鉄向け状態監視システム拡張工事を受注

- ・ 当社製の状態監視システムを拡張し、新設予定の連続亜鉛めっきライン2基にも適用予定
- ・ 状態監視システムにより、工場の稼働率が向上し保守費用が軽減
- ・ 本システムの導入により、コンスタントに高品質な生産を実現
- ・ Industry 4.0に向けた重要なステップ
- ・ 状態監視情報は、システム内の全装置から利用可能

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、中国の鉄鋼メーカーの唐山鋼鉄集団（唐山鋼鉄）向けに、状態監視システム（CMS）の拡張工事を受注しました。当社は既に河北省唐山市の同社第2冷延工場に同システムを納入していますが、今回のシステム拡張工事により、当社が納入する2基の新設連続亜鉛めっきラインの状態監視にも適用される予定です。拡張されたCMSは2018年末に稼働開始の予定です。

CMS導入の目的は、工場の稼働率を向上して保守点検費用を削減するだけでなく、生産計画を最適化してコンスタントに高品質な生産を実現することにあります。2017年以降、同社第2冷延工場の既存の亜鉛めっきライン、連続焼鈍ラインとタンデム酸洗ラインは、当社が納入したCMSで稼働状態が監視されてきました。唐山鋼鉄は、今回のシステム拡張によって工場全体の状態監視を行うことでIndustry 4.0実現に向けて重要な一歩を踏み出し、予防メンテナンスの分野を技術的にリードすることになります。

本CMSは、機械設備のみならず、メカトロニックシステム、制御装置、プロセスモデル、他社製システムの監視も行いますが、当社は本拡張工事でセンサーパッケージ、サーバー、専用のソフトウェアパッケージを納入します。これらには、振動の計測・解析を行う100基以上の固定式およびモバイル式のパッケージ、各設備のCPUに対する高速接続用パッケージ、ローラーテーブルと基本オートメーション（レベル1）のデータ監視パッケージが含まれます。収集されたデータは、集中メンテナンスセンタ

一や各オペレーターステーションで利用可能で、さらにリモートアクセスによる利用も可能です。機器データの同期、作業指示、メンテナンス作業からのフィードバック用の ERP（Enterprise Resource Planning：統合資源管理）システムへのインターフェースも実装されています。

唐山鋼鉄は、中国最大手の鉄鋼メーカーである HBIS 集団の傘下であり、唐山の生産拠点で 70 年以上操業してきました。2016 年の年間生産量は 46 百万トンです。近年、当社は AOD コンバータ、真空脱ガス脱炭プラント、連続亜鉛メッキラインを納入し、さらに既存の酸洗ラインとタンデム冷間圧延機の連結工事を行っていました。



唐山鋼鉄に納入されたプライメタルズテクノロジーズ製冷間圧延機

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com